

エコアクション21

2020 年度 環境経営レポート

(対象期間:2020 年 4 月 1 日~2021 年 3 月 31 日)



ジャパンスーパーコンダクタテクノロジー株式会社
門司工場

発行日 2021 年 9 月 10 日

組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

ジャパンスーパーコンダクタテクノロジー株式会社

代表取締役社長 渦川 博司

2. 対象範囲

①対象組織

ジャパンスーパーコンダクタテクノロジー株式会社

門司工場 (認証番号:0002315)

② 所在地

〒800-0007 福岡県北九州市門司区小森江2-2-1

③ 環境管理責任者

工場長 宮崎 隆好

担当者 山口 稔浩

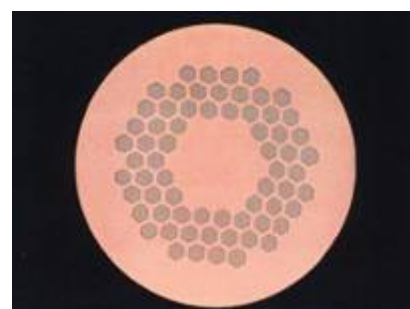
TEL 093-391-2835

FAX 093-391-2847

Eメールアドレス : yamaguchi.toshihiro@kobelco.com

④ 事業の内容

超電導線材(NbTi、Nb₃Sn 系)の製造



NbTi 超電導線の断面

⑤ 事業年度 当年4月～翌年3月

⑥ 事業の規模

| | 単位 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|------|----------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| | | 2018年4月～ 2019年3月 | 2019年4月～ 2020年3月 | 2020年4月～ 2021年3月 |
| 生産量 | Ton(換算) | 141 | 139 | 80 |
| 従業員数 | 人 | 51 | 45 | 29 |
| 床面積 | m ² | 3,608 | 3,608 | 3,608 |

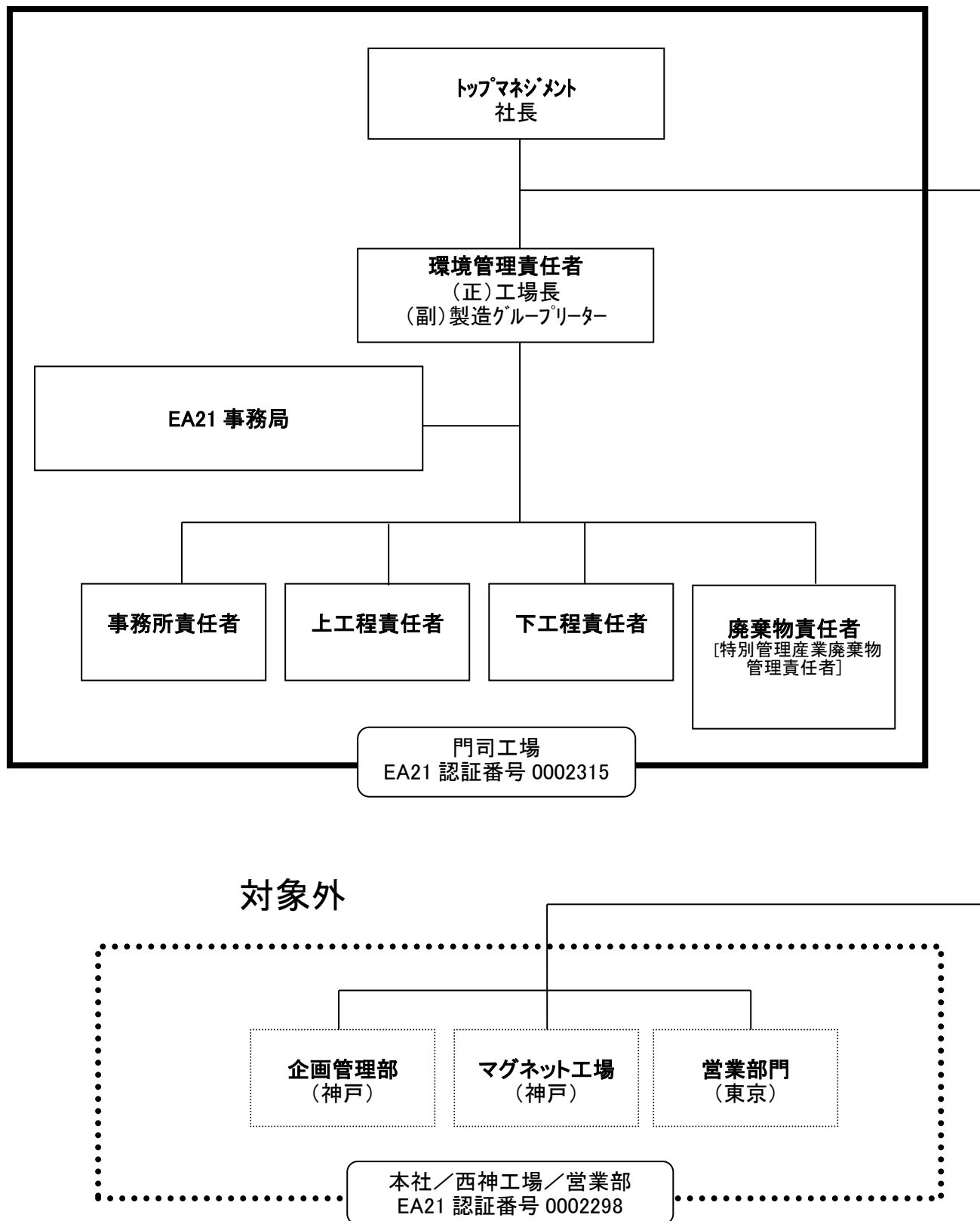
⑦ 事業の沿革

1980年 (株)神戸製鋼所が超電導線材の製造、販売を開始。

2002年 ジャパンマグネットテクノロジー(株)と事業統合によりジャパンスーパーコンダクタテクノロジー(株)を設立 今日に至る。

EA21 実施体制図

エコアクション 21 実施体制図



グループ環境経営基本方針

「グループ環境経営の実践による企業価値向上」

(グループの環境力向上)

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループとして

- (1) 環境に配慮した生産活動
- (2) 製品・技術・サービスでの環境への貢献
- (3) 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすとともに、環境力を高め企業価値を向上させる。

環境経営方針

EA-001-R7

制定 2007年8月1日

改訂7 2019年7月1日

環境経営理念

ジャパンスーパーコンダクタテクノロジー株式会社は、神戸製鋼グループの一員としてグループ環境経営のもと、環境に配慮した活動を展開します。

私たちが提供する超電導線材、超電導マグネットは電流を抵抗ゼロで流すことが可能であり、省エネルギーに貢献できる製品です。送電、発電機、核融合炉等の省エネルギー機器の開発に採用されています。

私たちはこれらの製品・技術の提供を通じて、健全な地球環境を次世代に残すとともに、事業活動においても環境に配慮した、地域と共存できる企業を目指していきます。

行動指針

従業員全員による下記の取組みを継続的に実施します。

- ① 環境経営システムを構築し、継続的に運用・改善するために組織体制を整備します。
- ② 環境関連法規制や当社が同意するその他の要求事項を順守し、環境汚染の予防に努めます。
- ③ 環境への負荷の少ない循環型社会の構築に向けて、二酸化炭素排出量(電力使用量、化石燃料使用量等)、水使用量の削減、廃棄物の減量・再資源化、化学物質使用量の削減、自社製品・サービスでの環境負荷削減に努めます。
- ④ 環境に悪影響を及ぼす原材料使用量の削減及び製作ミス・仕損じ等の低減による製造コストの削減、収益性の向上に努めます。
- ⑤ 経営方針を反映した環境経営目標を設定し、定期的に見直すことにより継続的な改善を図ります。
- ⑥ 全従業員が環境経営方針を認識し、方針に沿った活動が継続的に実践できるように教育、研修をおこないます。
- ⑦ 地域社会の環境保全活動に参画します。
- ⑧ 環境経営方針および環境経営システムに基づく実践活動の結果を環境レポートとしてまとめ公表します。

ジャパンスーパーコンダクタテクノロジー株式会社
代表取締役社長 渦川 博司

2020 年度の活動状況

1. 環境経営活動目標

当工場では、3年ごとに環境経営活動目標値を設定しており、今回は 2019 年度に下表のように作成しました。作成にあたっては、2016 年度から 2018 年度の実績値が、ほぼ達成可能な限界値であると認識をしておき、当該期間の平均値を 2019 年度から 2021 年度の目標値として設定しました。ただし、水使用量に関しては、2018 年度から水使用量の多い品種の生産量が増えたことなどから目標未達となったため 2018 年度の実績値を目標値としています。また、2021 年度は 2020 年度の結果を踏まえて、2020 年度の実績値を新たに採用しています。

| 環境経営活動項目 | 単位 | 2016～18 年度 平均実績値 | 2019 年度 目標値 | 2020 年度 目標値 | 2021 年度 * 6 目標値 |
|-------------|-----------------------------------|----------------------|-------------------------|---------------------------------------|--------------------------|
| 二酸化炭素排出量の維持 | CO ₂ (kg) /生産量(トン) | 5,376*1 (8,991)*3 | ≦4,163*2 (8,991) * 3 | ≦4,163*2 (8,991) * 3 | ≦5,920*2 (12,786) * 3 |
| 水使用量の維持 | 水使用量(m ³) /生産量(トン) | 11.7 | ≦12.8 * 4 | ≦12.8 * 4 | ≦11.3 |
| 廃棄物排出量の維持 | 廃棄物(トン) /生産量(トン) | 0.290 | ≦0.290 | ≦0.290 | ≦0.333 |
| 化学物質使用量の維持 | ジクロロメタン (kg) /生産量(トン) | 27.3 | ≦27.3 | ≦27.3 | ≦31.3 |
| 製品への環境配慮の推進 | (%) * 5 | 0.80 | ≦0.80 | ≦0.80 | ≦0.85 |

* 1 排出係数:0.598 (kg-CO₂/kWh、九州電力、平成 26 年実績)

* 2 排出係数:0.463 (kg-CO₂/kWh、九州電力、平成 29 年実績)

* 3 ()内は電気使用量(kWh/トン)、当社の使用エネルギーはすべて電気エネルギー

* 4 2018 年度は水使用量が目標未達となったため 2018 年度の実績値を目標値とした

* 5 (仕損金額/売上予想金額) * 100

* 6 2021 年度目標値は、2020 年度実績値を採用した

2. 2020 年度のおもな環境経営活動計画

2.1 二酸化炭素排出量(電気使用量)維持のための取組み

- ・エアコン使用時間短縮施設の拡大による夏場の電気使用量削減を継続する
- ・エアコンフィルターの定期的な清掃を実施する
- ・こまめな節電に努める

2.2 水使用量(おもに冷却水、洗浄水)維持のための取組み

- ・小型電気炉冷却水の循環方式を大型熱処理炉でも継続する
- ・水使用量メーターをチェックし、水使用量異常の早期発見に努める
- ・酸洗水の使用量の削減を図る

2.3 廃棄物排出量維持のための取組み

- ・梱包用木材の削減を図る(原材料業者への依頼の徹底)
- ・蒸留再利用によるジクロロメタン(商品名:メタクレン)廃棄量の削減を継続する

2. 4 化学物質使用量(購入量)の維持のための取組み

- ・ジクロロメタン洗浄槽の蓋開放時間の短縮による蒸発量の低減を徹底する
- ・蒸留再利用によるジクロロメタン購入量の削減を継続する

2. 5 自社製品への環境配慮の推進(仕損じの低減)のための取組み

- ・作業ミスの低減を徹底することによる仕損じ削減を継続する

3. 2020 年度の環境経営活動の実績

3. 1 目標の達成状況(二酸化炭素、水、廃棄物の維持)

当社は、2007 年度 8 月からエコアクション21を構築し、環境活動に取り組んできました。過去 3 年間及び 2020 年度の環境負荷(二酸化炭素、水、廃棄物)の低減目標と実績、達成状況は下の表と図のとおりです。

2020 年度は、二酸化炭素の排出量では、目標 4,163 以下に対して 5,920 と残念ながら目標未達となりました。水使用量につきましては、目標 12.8 以下に対して、11.3 と目標を達成しています。廃棄物排出量につきましては、目標 0.290 に対し 0.333 と目標未達となっています。(なお、それぞれの項目の単位につきましては、下表および下図をご参照ください。)

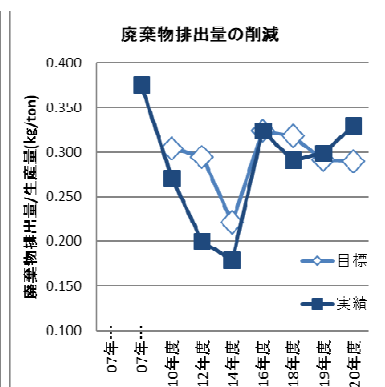
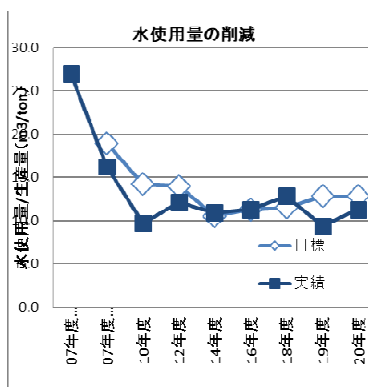
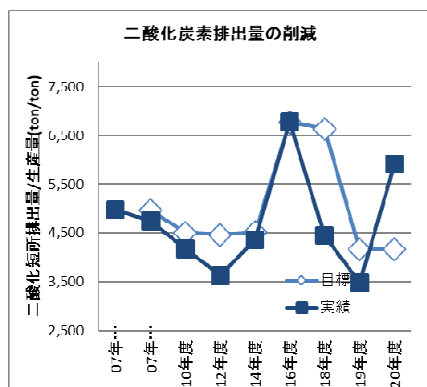
| 活動項目 | 目標 実績 | 単位 | 2017 年度 | 2018 年度 | 2019 年度 | 2020 年度 | 2020 年度 達成状況 |
|-------------|----------|--------------------------------|-----------|-----------|-----------|------------------|-----------------|
| 二酸化炭素排出量の維持 | 目標 | CO ₂ (kg)/生産量(トン)*1 | 6,708 | 6,640 | 4,163 | 4,163 | × |
| | 実績 | 総 CO ₂ 量(kg) | 600,318*2 | 629,203*2 | 485,334*3 | 473,449*3 | |
| | | CO ₂ (kg)/生産量(トン)*1 | 5,160*2 | 4447*2 | 3478*3 | 5920*3 | |
| 水使用量の維持 | 目標 | 水(m ³)/生産量(トン)*1 | 11.2 | 11.5 | 12.8*4 | 12.8*4 | ○ |
| | 実績 | 総水使用量(m ³) | 1,332 | 1,816 | 1,304 | 900 | |
| | | 水(m ³)/生産量(トン)*1 | 11.5 | 12.8 | 9.4 | 11.3 | |
| 廃棄物排出量の維持 | 目標 | 廃棄物(トン)/生産量(トン)*1 | 0.321 | 0.318 | 0.290 | 0.290 | × |
| | 実績 | 総廃棄物量(トン) | 29.4 | 41.1 | 41.5 | 26.6 | |
| | | 廃棄物(トン)/生産量(トン)*1 | 0.253 | 0.291 | 0.299 | 0.333 | |

*1 当社設定の定義による生産量

*2 排出係数:0.598(kg-CO₂/kWh、九州電力の平成 26 年実績)を使用

*3 排出係数:0.463(kg-CO₂/kWh、九州電力の平成 29 年実績)を使用

*4 2018 年度は水使用量が目標未達となったため 2018 年度の実績値を 2020 年度の目標値とした

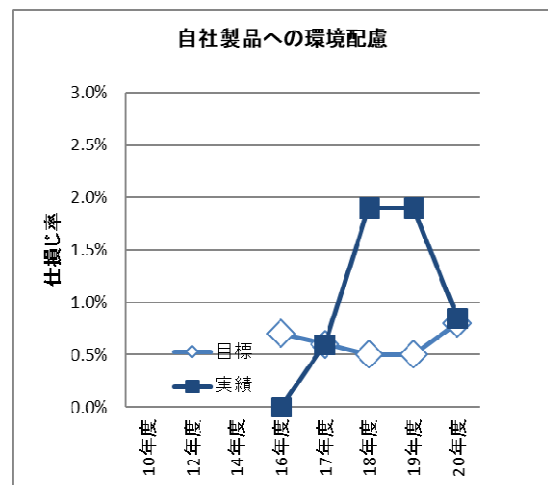
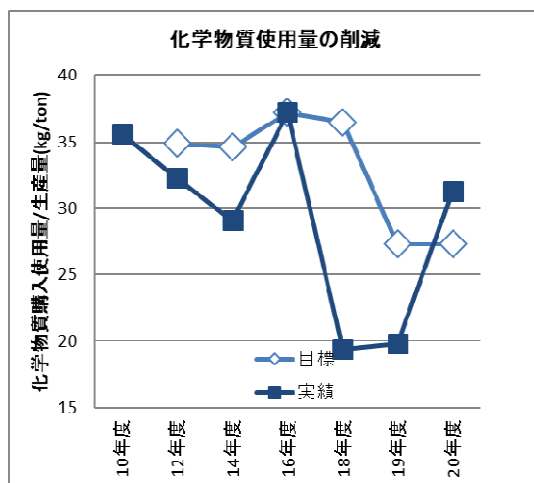


3. 2 目標の達成状況(化学物質使用量の削減、自社製品への環境配慮の推進)

2009 年版ガイドラインで新たに活動項目として取り上げられ、2010 年度から活動を開始した化学物質使用量、および自社製品への環境配慮活動の目標と実績、達成状況を下の表および図に示します。化学物質使用量(メタクレン購入量)に関しては、2020年度は目標 27.3 以下に対し実績 31.3 と未達に終わりました。また、自社製品への環境配慮(仕損じ金額の削減)に関しましても、目標 0.80 以下に対し 0.85 と未達となりました。(なお、それぞれの指標の単位につきましては、下表および下図をご参照ください。)

| 活動項目 | 目標 実績 | 単位 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2020年度 達成状況 |
|----------------------|----------|--------------------------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 化学物質 使用量の 削減*1 | 目標 | kg-購入量/生産量 1トン | ≤ 36.8 | ≤ 36.5 | ≤ 27.3 | ≤ 27.3 | × |
| | 実績 | 総購入量(kg) | 3,000 | 2,750 | 2,750 | 2,500 | |
| | | kg-購入量/生産量 1トン | 25.8 | 19.4 | 19.8 | 31.3 | |
| 自社製品へ の環境配慮 | 目標 | (仕損じ金額/売上予想金額) × 100 (%) | ≤ 0.6 | ≤ 0.5 | ≤ 0.80 | ≤ 0.80 | × |
| | 実績 | (仕損じ金額/売上予想金額) × 100 (%) | 0.6 | 1.9% | 0.77% | 0.85% | |

*1 PRTR 法に定められたジクロロメタン(メタクレン)の購入量



4. 2020 年度環境活動取り組み結果の評価および 2021 年度環境活動計画

エコアクション 21 を運用した 2020 年度の活動目標に対する実績をまとめると以下の通りです。

| 目 標 | 単 位 (生産量当たり) | 2020 年度 目 標 | 2020 年度 実績 | 達成 状況 |
|----------------|-----------------------------|----------------|------------|----------|
| 二酸化炭素排出量の削減、維持 | kg-CO ₂ /トン生産量*1 | ≦4,163 | 5,920 | × |
| (電気使用量の削減、維持) | kwh/トン生産量 | ≦8,991 | 12,785 | × |
| 水排出量の維持 | m ³ -水/トン生産量 | ≦12.8 | 11.3 | ○ |
| 総廃棄物排出量の維持 | kg-廃棄物/トン生産量 | ≦0.290 | 0.333 | × |
| 化学物質使用量の維持 | kg-購入量/トン生産量 | ≦27.3 | 31.3 | × |
| 仕損じ金額の削減 | 仕損じ金額/売上予算金額 | ≦0.80 | 0.85 | × |

* 1 排出係数:0.463(kg-CO₂/kWh、九州電力の平成 29 年実績)を使用

4. 1 2020 年度の環境活動取り組み結果の評価

① 二酸化炭素排出量の削減

- ・ 当工場の使用エネルギーは 100%電気エネルギーであり、作業、設備別の使用割合は、生産量が比較的多かった昨年までは、およそ、1)線材抽伸作業:46%、2)電気炉による熱処理作業:30%、3)He 凝縮再生作業:12%、4)冷暖房:6%、5)事務作業、照明等:6%となっています。これまでは、熱処理方法の改善、冷暖房機の使用時間の短縮、設定温度の見直しや効率化、グリーンカーテンの推進、照明の LED 化などを進めてきました。
- ・ これらに加えて今年度は、冷暖房用エアコンの使用時間の短縮施設の拡大の継続、エアコンフィルターの定期的な清掃、こまめな節電などに取り組みました。しかしながら、1)の線材抽伸作業は生産量に比例して電気使用量が減少するものの、2)~5)に関しては、必ずしも生産量に比例せずほぼ一定であることも明らかとなっており、今年度のように生産量が減少する環境下では、生産量に対する電気使用量は相対的に大きくなり目標未達に終わりました。

② 水使用量の削減

- ・ 2020 年度は、これまで実施してきた各種の水使用量低減策を継続したことに加え、水使用量の積算メーターを毎日監視、記録し異常の早期発見に努めるとともに、酸洗水の使用量削減を図りました。その結果、水使用量は生産量とほぼ比例して減少させることができ、目標を達成することができました。

③ 廃棄物排出量の削減

- ・ 2020 年度は、原料や半製品の海外からの輸入に使用される木箱やパレットが多い点に注目し、木製梱包資材の使用を控えるよう海外メーカーへ再三申し入れし、結果大幅に低減することができました。しかしながら、一時超電導線材の伸線時に、潤滑油起因と考えられる異常が発生し、潤滑油を頻繁に取り換えたため油の廃棄量が増大してしまいました。また、一般ごみの廃棄量が生産量によらず、これまでとほぼ同じだったこともあり、生産量に対する廃棄物量が多くなって目標を達成することができませんでした。

④ 化学物質使用量の削減

- ・ 当社では線材などの脱脂にジクロロメタン(商品名:メタクレン)を使用しています。ジクロロメタンは PRTR 法に定められた化学物質で、その使用量、大気への放出量を毎年、北九州市環境局に届け出ています。廃棄したジクロロメタンは焼却処理され塩素系化合物が大気中に放散されます。当社ではジクロロメタン蒸留再生装置の導入以来廃棄量は大幅に減少しており、環境改善に寄与できているものと考えています。
- ・ 具体的には、洗浄槽の蓋の開放時間を短くし(小まめに蓋を閉める)、蒸発量を低減するといった活動を2017年度から実施しています。2020年度は生産量が減少したにも関わらず、洗浄する製品の量ではなく洗浄槽の容量で使用量を決めているために購入量が減少せず、生産量で除した数値が大きくなり目標未達に終わりました。来年度以降、洗浄対象の量によってジクロロメタンの量を調整するような方策を探っていきます。

⑤ 製品への環境配慮の推進

- ・ 2015年度から仕損じの低減(再製作に要する電気使用量、水使用量などを低減するとともに再制作費用を削減する)活動テーマとして採用しています。作業ミスをなくすことなどを徹底してきましたが、2020年度は目標値(2016~2018年度の平均実績値)をわずかながら上回ってしまいました。この指標に関しては、残念ながら活動開始以目標値をクリアすることができていません。品質失敗コストの低減は21-23年度の中期経営計画でも重点的に取り組むこととなっており、改善を継続的に進めてまいります。

4.2 2021年度の取り組み目標およびおもな活動内容

当工場では、3年ごとに環境経営活動目標値を設定しており、2019年度に、2019年度~2021年度までの3年間の環境経営活動目標値を定めました。しかしながら、2020年度は生産量が減少し、生産量との相関の低い活動項目で目標値未達に終わりました。このため、2021年度の目標値は、P4に記載したとおり2020年度の実績値を目標値としています。また、目標達成のための2021年度的主要な活動内容については下表に示しています。

| 取り組み目標 | おもな活動内容 |
|-----------------------------------|--|
| 二酸化炭素排出量の維持 目標値: ≤5,368(kg/トン) | <ul style="list-style-type: none"> ・ エアコンの使用時間短縮部署の拡大による夏場の電気使用量の削減及びエアコンフィルターの定期的な清掃を行う ・ 電気炉に装入する超伝導コイルの量を増大し、電気炉の稼働回数を低減する方策を検討する |
| 水使用量の維持 目標値: ≤11.3(m3/トン) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種電気炉の冷却水の循環使用を継続する ・ 積算メーターの定期的チェックにより異常値を早期発見する ・ 酸洗水使用量の削減を継続する |
| 総廃棄物量の維持 目標値: ≤0.33(トン/トン) | <ul style="list-style-type: none"> ・ ジクロロメタンの蒸留再利用による廃却量の低減を継続する ・ 油の使用量を削減する |

| | |
|--------------------------------------|--|
| 化学物質使用量の維持 目標値: ≤31.3(kg/トン) | <ul style="list-style-type: none"> ・洗浄槽の蓋開放時間短縮による蒸発量の削減を再度徹底する ・ジクロロメタンの蒸留再利用による購入量の削減を継続する |
| 自社製品への環境配慮: 仕損じ額の維持 目標値: ≤0.85(%) | <ul style="list-style-type: none"> ・作業ミスの低減を継続する ・異物混入の撲滅 ・原材料品質管理の徹底 |

5. 環境関連法規等の管理状況: 申請、違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果は下表のとおりです。2020 度は 6 月に、PRTR 法に基づくジクロロメタンの排出量、移動量を、また廃棄物の処理および清掃に関する法律に基づき廃棄物管理票(マニフェスト)の発行状況を電子ファイルで北九州市環境局に報告しています。

関係機関等からの指摘、地域住民、利害関係者からの訴訟や苦情は 2019 年度もなく、EA21 の活動を開始した 2007 年から、過去 12 年間にわたって違反や訴訟はありません。

| 適用法、 条例 | 適用対象施設、 設備、作業 | 適用条項 | 適用内容、規制基準、実施 すべきことなど | 備考 | 評価 |
|--------------------|--|---------------------------|---|--|----|
| 大気汚染 防止法 | 1、2、4、5号熱 処理炉 | 大気汚染防止法第6条 大気汚染防止法第13条 | ・新設、変更時の60日前に届出する | ・現電気炉は市環 境局へ届出済み | ○ |
| 北九州市 公害防止 条令 | 1,2号ビレット加熱炉 | 公害防止条令第8条1項 | ・金属製品の熱処理の用に供する加熱炉 ・変圧器の定格容量が100~200KVAの炉 | ・2012年12月に届出 | ○ |
| 騒音 規制法 | ワイヤフォーミングマシン、 コンプレッサー、鍛造機 | 騒音規正法第2、4、6条 騒音規正法第4条 | ・新設、変更時の30日前に届出する ・敷地境界において、70デシベル(深夜: 65デシベル以下) ・2回/年の測定が必要 | ・現有設備届出済み * 境界測定は神鋼 メタル殿が実施 ・設備周辺: JASTEC | ○ |
| 下水道法 | 熱硫酸槽 硝酸洗浄施設 (硝酸室、酸洗場) 硝酸スクラパー 手動脱脂装置 ジクロロメタン洗浄 施設 ジクロロメタン蒸留 施設 | 下水道法第12条の6 下水道法第12条の2 | ・新設、変更時の60日前に届出する | ・ジクロロメタン洗浄施 設(洗浄室、矯正室) 届出: 2014年9、12月 ・硝酸洗浄施設(酸洗 場)届出: 2016年2月 | ○ |

| | | | | | |
|---------------------------------|--|--|--|--|---|
| 水質汚濁 防止法 | 硝酸洗浄施設 (硝酸室、酸洗場) 硝酸スクラパー 廃硝酸貯蔵槽 ジクロロメタン洗浄 施設 ジクロロメタン蒸留 施設 | 水質汚濁防止法第5条 の3 | ・有害物質(当工場ではジクロロメタン、硝酸が該 当)使用設備は届出が必要 ・漏洩による下水道への混入、地中への浸透 防止が目的。1回/年の定期点検が必要 | ・ジクロロメタン洗浄施 設(洗浄室、矯正室) 届出:2014年10月、 2015年1月 ・硝酸洗浄施設(酸洗 場)届出:2016年2月 | ○ |
| 毒物劇物 取締法 | 硝酸保管庫 硫酸保管庫 | 毒物劇物取締法別表2 毒物劇物施行規則4条 の4 | ・当工場では硝酸、硫酸が劇物に該当 ・硝酸、硫酸の保管上(盗難、漏洩防止など) に注意する | ・毒物劇物管理規定を 作成(2012年12月) | ○ |
| PRTR法 | ジクロロメタン | 特定化学物質の環境へ の排出量の把握等及び 管理の改善の促進に関 する法律 | ・第1種指定化学物質の年間取扱量が 1t以上の場合(当工場ではジクロロメタンが該 当) | ・排出量・移動量を 2020年6月15日に北九 州市環境局に届出 | ○ |
| 消防法 | 油類 木材 | 消防法第17条3の3 危険物取扱い規則 消防法10,11条別表1など | ・消火設備の設置基準: 消火器は1個/20m設置すること 危険物の許容保管数量を守ること | ・消火設備の点検結果 を2019年5月15日に 報告(次回は2022年) | ○ |
| 北九州市 火災予防 条例 | ・電気炉(4台) ・長尺炉(1台) ・ヒート加熱炉(2台) | 火災予防条例3条、67 条 | ・火を用いる炉(電気炉も含む)に適用 ・据え付け面積:2m ² 以上の炉は消防署に 届け出が必要 | 2018年10月26日に北 九州市環境局に届出 | ○ |
| 廃棄物の 処理及び 清掃に関 する法律 | 事業系 一般廃棄物 | 委託先業者選択基準法 6条、処理の委託基準法 6条 | ・収集・運搬・処分は許可を受けた一般廃棄 物収集・運搬、処分業者に委託する | | ○ |
| | 産業廃棄物 1.廃プラスチック類 2.木くず類* 3.廃油 | 保管基準法12条など | ・飛散、流出、地下浸透防止処置を講ずる ・周囲に囲いを設けること など | | ○ |
| | | 管理票の交付 | ・廃棄物の種類ごと、運搬先ごと | | ○ |
| 4.がれき類 5.ガラス、陶磁器 屑、梱包用木くず | 管理票の写し保管期間 法12条 | ・廃棄物の種類、運搬・処分を委託した の氏名、名称など記載すること | | | ○ |
| | 委託契約基準法12条 | ・管理票写しの保管:5年間保管 ・毎年6月30日までに前年度1年間の 交付状況を北九州市環境局に報告 ・収集運搬業者及び処分業者との書面に 委託契約書には許可書の写しの添付 ・委託契約書の保管:5年間保存 ・収集運搬業者及び処分業者との契約 書面に許可書写しの添付 ・委託契約書の保管:5年間保存 ・水銀含有廃棄物の適正廃棄を心掛ける | 管理表を2020年6月15 日に電子ファイルで市環 境局に報告済み 2020年度より電子マニ フェスト化 水銀含有廃棄物に関 する規定を作成し、専 用廃棄容器設置 | ○ | |
| フロン排 出抑制法 | 業務用エアコン クーラー、除湿器 | フロン排出抑制法(改正フ ロン回収・破壊法) | 7.5kW以上の業務用エアコンは有資格者によ る1回/3年の点検、記録をおこなう | 2018年4月18日に(有) 空調システムが点検実施 | ○ |

| | | |
|----------|-------------------------------------|-------------------------|
| スポットクーラー | 7.5kw以下の業務用エアコンは1回/3ヶ月の簡易点検、記録をおこなう | 2020年度4、7、10、1月に簡易点検を実施 |
|----------|-------------------------------------|-------------------------|

6. 2020年度 代表者による全体の評価と見直し

全体評価

- ・ 全従業員に対して安全衛生環境会議において、環境経営活動の実施状況の報告、教育を行うとともに、1回/年の緊急事態訓練(火災初期消火訓練)を2020年11月27日に実施しました。
- ・ 環境関連法規に関しては、PRTR法や廃棄物関連法で定められた北九州市への報告を実施しました。また、フロン排出抑制法(改正フロン法)に基づき、フロンを使用している業務用エアコンなど38台の機器の簡易点検を1回/3ヶ月の頻度で実施しています。
- ・ 外部からの苦情や訴訟などはこれまで通りありません。
- ・ これらのことから、環境経営システムは有効に機能していると判断します。
- ・ 2020年度は生産量がこれまでにないレベルにまで減少することが見込まれましたが、目標値の見直しは行わず、実績値の把握に努めました。このため、水使用量以外は目標未達に終わりました。2021年度は2020年度の実績値をもとに新たに目標値を設定して環境経営活動を行って参ります。

見直し事項

- ・ 2020年度の実績値及び2021年度の生産量見込みをもとに、適切な目標値を策定することを指示しました。

7. 地域社会との環境保全共同活動等

引き続き、地域美化活動の一環として、以下の写真のように当社工場周辺の道路をスタッフが全員で清掃をおこなっています。



8. 表彰歴

2013年 10月 感謝状 授与 「北九州市環境にやさしい事業所」
2017年 11月 感謝状 授与 「エコアクション21 10年継続事業所」



* 表紙写真

葉上で縄張りを張るミドリシジミ (2020年6月20日 兵庫県加東市にて)